

第4回総合体育館基本構想検討委員会 議事概要

1 開催日時・場所

令和3年9月13日（月）午後2時～午後4時10分
市町村自治会館（Web開催）

2 会次第

(1) 開 会

(2) 議 事

① 施設の機能，規模・構成（コンセプト）について

- ・ 「みる」スポーツ，「ささえる」スポーツに必要な機能について
- ・ 規模（諸室）について
- ・ 新たな総合体育館のコンセプトについて

② 施設のコンセプトを踏まえた立地環境について

③ その他

(3) 閉 会

3 議事概要

(1) 施設の機能，規模・構成（コンセプト）について

① 「みる」スポーツ，「ささえる」スポーツに必要な機能について

- ・ 「みる」スポーツ，「ささえる」スポーツに必要な機能について，協議

- ・ 各委員から出された意見について，事務局において基本構想（案）の作成に向けて整理することとされた。

② 規模（諸室）について

- ・ 諸室の構成や規模について協議し，以下の内容で，今後，具体的に検討を進めていくことで委員間の共通認識が得られた。

メインアリーナ，サブアリーナ：諸室の構成については，アリーナ標準等に基づき，更衣室，会議室，事務室などとし，それに係る必要規模は，概ね5,400㎡を目安とする。

柔剣道場，弓道場：諸室の構成については，器具庫，控室などとし，それに係る必要規模は，柔剣道場で概ね175㎡，弓道場の近的で概ね310㎡，遠的で概ね185㎡とする。

- ・ 規模（諸室）については，施設のレイアウトや動線により構成面積が変わることが想定されるため，整備予定地の決定後に具体的に調整して詰めていくこととする。
- ・ その他，各委員から出された意見について，事務局において基本構想（案）の作成に向けて整理することとされた。

③ 新たな総合体育館のコンセプトについて

- ・ 第3回までの検討委員会における検討結果や，「みる」スポーツ，「ささえる」スポーツに必要な機能，及び諸室の必要規模を踏まえた新たな総合体育館のコンセプト（たたき台）について協議
- ・ 新たな総合体育館のコンセプトについては，スポーツ振興の拠点機能として「する」スポーツをベースとしたアスリートファーストの施設とするとともに，「みる」スポーツや「ささえる」スポーツにも対応できる施設とすることにより，競技力向上や競技人口の増加，県民，とりわけ子ども達への良質なスポーツ環境の提供を図ることとされた。
- ・ 多目的利用による交流拠点機能については，コンサート・イベント等の開催を通じ，様々な人々が交流できる施設とすることにより，賑わいの創出や経済波及効果など地域活性化とともに，施設の収益性にも寄与することとされた。
- ・ 上記のコンセプトについて，委員間の共通認識が得られ，今後，これをベースに検討を進めていくこととされた。

(2) 施設のコンセプトを踏まえた立地環境について

- ・ 総合体育館の立地環境について、専門のコンサルタントにおいて調査・分析した結果に基づき協議
- ・ 施設のコンセプトに示された、総合体育館の機能を最大限に発揮させる観点から、その立地条件について検討した結果、交通利便性や宿泊・商業施設の集積状況を踏まえると、鹿児島市に立地することが望ましいとの委員間の共通認識が得られた。

4 委員の主な意見（要旨）

- 若者のスポーツ離れが言われている中、ニュースポーツに触れる機会など、若者がスポーツに親しみやすい環境をつくり、スポーツ先進県鹿児島を目指してはどうか。
- 障害者に配慮した観客席の整備とあわせて、出入口の広さにも配慮されたい。
- 「みる」スポーツの観点から、Wi-Fi環境・動画配信機能の整備は重要。鹿児島を取組を情報発信できるよう積極的に取り組む必要がある。
- 「みる」スポーツへの対応として、客が飲食しながら観戦できるようなVIP室やラウンジの整備を検討してはどうか。
- エンターテインメントの観点から、VIP室だけでなく、幅広い方が利用できるようなラウンジについても検討すべき。
- 多目的更衣室について、他県の整備状況を情報収集・整理の上、委員会に提示してほしい。
- 「みる」スポーツやコンサート・イベント等の多目的利用に対応するためには、電気・水道・ガスを使えることなどの配慮が必要である。
- 機能について、様々な意見が出されたが、取りまとめに向けての優先順位を考えることが必要。また、時代の変化も見据え、各部屋のレイアウトについては、柔軟性を持たせてほしい。
- スポーツ振興に軸足を置くことを前提とした上で、多目的利用についても、施設の持続可能性・地域活性化の観点から重要であり、今後、立地場所の議論等と併せて具体的に検討していくべき。
- 多目的利用の視点から、会議室や展示機能などを施設の中に入れ込みすぎると中途半端な施設になり良くない。これらの機能は、周辺施設との連携により確保する方が望ましいと考える。

- 県大会の主な参加者である中高生，とりわけ離島生徒の経済的な面も含めた負担軽減の観点からも，新たな総合体育館は，鹿児島市で港に近い場所に立地することが望ましい。
- 平等な競技環境の提供の観点から，離島から参加する生徒には，帰りの船の乗船時刻を気にせず，競技に集中させたい。
- 県大会等の交通手段として自家用車の利用が多いことを考えると整備候補地の検討に当たっては，駐車場の確保について考慮すべきである。
また，複数の整備候補地について，それぞれのメリット，デメリットが分かるようにして議論を進めるべきである。
- 全国大会やコンサートなどについては，群集の安全な移動と、イベント前後の経済波及効果を考慮して、交通計画や立地の検討が必要である。
- 新たな総合体育館は，スポーツ大会やコンサート等イベント開催時に多数の方が来場することから，騒音等周辺住宅への影響は考慮すべきである。